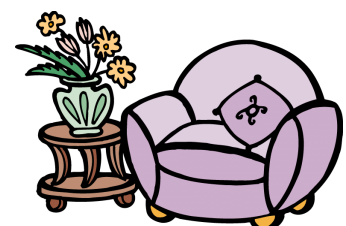


**■正誤問題** (要点確認 37 問)

住宅の計画に関する記述です。○×で回答して下さい。×の場合は、なぜ間違っているのかも考えてみましょう。

1. バルコニーと住宅内部の床との段差を、高齢者に配慮して、120mm の単純段差とした。
2. 玄関のくつずりと玄関ポーチとの高低差を、車いすの使用に配慮して、30mm とした。
3. 地階における居室に採光や通風を得るために、光庭を設け、その庭に面して開口部を設けた。
4. 床面積 20m<sup>2</sup> の主寝室に付属する収納スペースの広さを、4m<sup>2</sup> とした。
5. 台所の近くに、勝手口、家事室を計画した。
6. 両側に側壁のある高さ 3m の階段の場合、少なくとも片側には手すりを設ける。
7. 高齢者が使用する便所の扉は、内開きより外開きとすることが望ましい。
8. 車いす使用者が利用するキッチンタイプは、L 字型より I 字型のほうが使いやすい。
9. 設備コアによるコアプランは、外周部に居室部分を計画することができる。
10. ユーティリティは、家事を能率的に行うために設ける。
11. 両世帯が共用する玄関において、玄関ポーチとくつずりの高低差を 3cm とし、くつずりの色は玄関ポーチの床の色と同色とした。
12. 親世帯の書斎における机上の照度は、JIS における照度基準の 2 倍程度とした。
13. 洗面所の水栓は、操作性を考慮してシングルレバー式とした。
14. 廊下の手摺は、出入口等を除いて連続させ、端部は下方に曲げた。
15. 子供室は、将来的に間仕切ることを考慮した共用の 1 室として計画した。
16. 介助スペースを考慮して、洋式便所の広さを、内法で 140cm×140cm とした。
17. 埋込み型の浴槽の縁の高さを、洗い場の床面から 35cm とした。
18. 階段の手すりの高さを、踏面の先端の位置で測って 80cm とした。

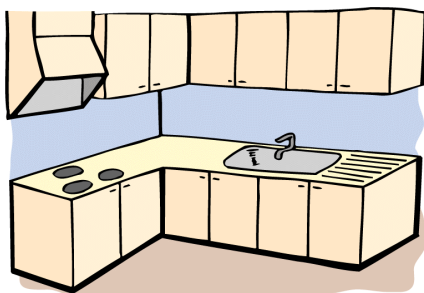
19. ツインベットを用いる夫婦寝室の広さを、収納スペースを含めて、内法面積で  $9\text{m}^2$  とした。
20. 4人用の食卓のあるダイニングキッチンの広さを、内法面積で  $15\text{m}^2$  とした。
21. コートハウスとは、建築物や塀で囲まれた中庭をもつ形式の住宅のことである。
22. 最小限住宅とは、生活に必要な最小限の要素を抽出し、これによって設計を行った住宅のことである。
23. バリアフリーに対応した住宅とは、外部からの侵入者を防ぐために、防犯上の工夫をした住宅のことである。
24. 町屋とは、奥行きが長い敷地に入から奥に通じる通り庭に面して各室が配置された、伝統的な住宅形式のことである。
25. 高断熱高気密住宅とは、一般に、壁や窓等の断熱性・気密性を高めることによって、冷暖房負荷を低減してエネルギー消費量を少なくした住宅のことである。
26. サービスヤードは、ユーティリティとの動線を考慮して配置する。
27. 浴室の出入口において、グレーチングの排水溝を設けることは、脱衣室との段差の解消及び水仕舞に有効である。
28. 居住者の高齢化を考慮する場合、通常、出入口の戸は引戸とすることが望ましい。
29. セントラルクリーナーは、排気を室内にまき散らさないのが衛生的である。
30. 就寝分離とは、居間などの共同空間と寝室などの個人的空間とを分けることである。
31. 防犯、防災を考慮して、ホームオートメーション設備を取り入れた。
32. 各居室の収納面積は、それぞれの床面積の 20%程度とした。



- 33. 寝室の気積を、1 人当たり  $6\text{m}^3$  として計画した。
- 34. 居住者の高齢化を考慮して、バリアフリーに対応する計画とした。
- 35. 高齢者室にミニキッチンを設け、簡単な料理ができるようにした。
- 36. 階段における手摺の高さは、踏面の先端の位置から  $1,100\text{mm}$  とした。
- 37. 調理をしながら家族や来客と会話がしやすいように、台所の形式をアイランド型とした。

## ■正誤問題 解答編

1. バルコニーと住宅内部の床との段差を、高齢者に配慮して、120mm の単純段差とした。  
1. ○
2. 玄関のくつずりと玄関ポーチとの高低差を、車いすの使用に配慮して、30mm とした。  
2. × くつずりとポーチとの高低差は、車いす使用の場合は 20mm 以下とします。30mm では少し高い。
3. 地階における居室に採光や通風を得るために、光庭を設け、その庭に面して開口部を設けた。  
3. ○
4. 床面積 20m<sup>2</sup> の主寝室に付属する収納スペースの広さを、4m<sup>2</sup> とした。  
4. ○
5. 台所の近くに、勝手口、家事室を計画した。  
5. ○
6. 両側に側壁のある高さ 3m の階段の場合、少なくとも片側には手すりを設ける。  
6. ○
7. 高齢者が使用する便所の扉は、内開きより外開きとすることが望ましい。  
7. ○
8. 車いす使用者が利用するキッチンタイプは、L 字型より I 字型のほうが使いやすい。  
8. × I 字型は動線(移動)が長くなります。L 字型の方が使いやすいと言えます。



9. 設備コアによるコアプランは、外周部に居室部分を計画することができる。  
9. ○
10. ユーティリティは、家事を能率的に行うために設ける。  
10. ○

11. 両世帯が共用する玄関において、玄関ポーチとくつずりの高低差を 3cm とし、くつずりの色は玄関ポーチの床の色と同色とした。
11. × 将来の車いす使用を考慮すると、玄関ポーチとくつずりの高低差は 2cm 以下が好ましく、くつずりの色は玄関ポーチとは容易に区別できる方がよい。
12. 親世帯の書斎における机上の照度は、JIS における照度基準の 2 倍程度とした。
12. ○
13. 洗面所の水栓は、操作性を考慮してシングルレバー式とした。
13. ○
14. 廊下の手摺は、出入口等を除いて連続させ、端部は下方に曲げた。
14. ○
15. 子供室は、将来的に間仕切ることを考慮した共用の 1 室として計画した。
15. ○
16. 介助スペースを考慮して、洋式便所の広さを、内法で 140cm×140cm とした。
16. ○
17. 埋込み型の浴槽の縁の高さを、洗い場の床面から 35cm とした。
17. ○
18. 階段の手すりの高さを、踏面の先端の位置で測って 80cm とした。
18. ○
19. ツインベットを用いる夫婦寝室の広さを、収納スペースを含めて、内法面積で 9m<sup>2</sup> とした。
19. × 9m<sup>2</sup> は 6畳よりも狭いスペースです。ツインベッドを置くには少し狭いですね。
20. 4 人用の食卓のあるダイニングキッチンの広さを、内法面積で 15m<sup>2</sup> とした。
20. ○
21. コートハウスとは、建築物や塀で囲まれた中庭をもつ形式の住宅のことである。
21. ○
22. 最小限住宅とは、生活に必要な最小限の要素を抽出し、これによって設計を行った住宅のことである。
22. ○

23. バリアフリーに対応した住宅とは、外部からの侵入者を防ぐために、防犯上の工夫をした住宅のことである。

23. × 違いますよね、バリアフリーとは、高齢者や障害者の方の行動を阻む障壁がないことを言います。

24. 町屋とは、奥行き長い敷地に入口から奥に通じる通り庭に面して各室が配置された、伝統的な住宅形式のことである。

24. ○

25. 高断熱高気密住宅とは、一般に、壁や窓等の断熱性・気密性を高めることによって、冷暖房負荷を低減してエネルギー消費量を少なくした住宅のことである。

25. ○

26. サービスヤードは、ユーティリティとの動線を考慮して配置する。

26. ○

27. 浴室の出入口において、グレーチングの排水溝を設けることは、脱衣室との段差の解消及び水仕舞に有効である。

27. ○

28. 居住者の高齢化を考慮する場合、通常、出入口の戸は引戸とすることが望ましい。

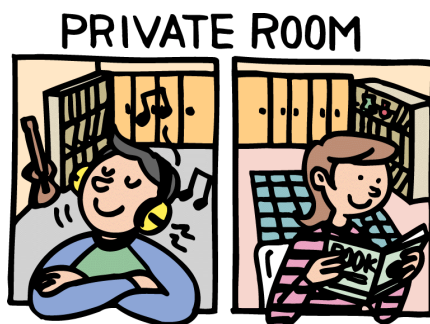
28. ○

29. セントラルクリーナーは、排気を室内にまき散らさないのが衛生的である。

29. ○

30. 就寝分離とは、居間などの共同的空間と寝室などの個人的空間とを分けることである。

30. × 就寝分離とは、プライバシーの確保のために、独立した寝室を確保する事です。記述は食寝分離の事です。



31. 防犯、防災を考慮して、ホームオートメーション設備を取り入れた。

31. ○

32. 各居室の収納面積は、それぞれの床面積の 20%程度とした。

32. ○

33. 寝室の気積を、1 人当たり  $6\text{m}^3$ として計画した。

33. × 寝室は、6 畳の部屋に 2 人寝るとして、1 人当たり約  $10\text{m}^3$ 、4 畳半の部屋に 1 人寝るとして、約  $15\text{m}^3$ です。1 人当たり  $6\text{m}^3$  はちょっと狭いと言えます。

34. 居住者の高齢化を考慮して、バリアフリーに対応する計画とした。

34. ○

35. 高齢者室にミニキッチンを設け、簡単な料理ができるようにした。

35. ○

36. 階段における手摺の高さは、踏面の先端の位置から  $1,100\text{mm}$ とした。

36. × バルコニーや廊下の転落防止用の手摺は  $1,100\text{mm}$ 以上にしますが、階段の手摺の場合は、踏面の先端の位置で  $800\sim 850\text{mm}$ くらいとします。

37. 調理をしながら家族や来客と会話がしやすいように、台所の形式をアイランド型とした。

37. ○